

Automation Anywhere Enterprise A2019 - よくある質問

目次

質問: Automation Anywhere Enterprise A2019 とは何ですか?	2
質問: Enterprise A2019 と以前のバージョンの違いは何ですか?	2
質問: Enterprise A2019 はどのような形態で利用できますか?	3
質問: Enterprise A2019 がサポートするオペレーティングシステムは 何ですか?.....	4
質問: Enterprise A2019 はどのような方法で導入できますか?	5
質問: Enterprise A2019 はどのような方法で更新されますか?	5
質問: A2019 は英語以外の言語でも利用できますか?	6
質問: A2019 のデータ プライバシーとセキュリティにはどのような 特徴がありますか?	6
質問: Enterprise A2019 がサポートするクラウド プラットフォームは 何ですか?.....	7
質問: サポートされているプログラミング/スクリプト言語は何ですか?.....	7
質問: Enterprise A2019 の製品ドキュメントはどこにありますか?.....	7
質問: A2019 には製品内のヘルプがありますか?	8

よくある質問

質問: Automation Anywhere Enterprise A2019 とは何ですか?

Automation Anywhere Enterprise A2019 はオートメーション・エニウェアが提供する業界最先端の RPA/デジタルワークフォース プラットフォームの最新バージョンです。Enterprise A2019 は、あらゆる種類のユーザーに対応する、初の完全 Web ベース・クラウド対応の RPA プラットフォームです。オンプレミスとクラウド環境の両方でホスティング可能で、RPA-as-a-Service を提供し、さらにエンタープライズ クラスのデータ プライバシー、セキュリティ、監査コンプライアンス機能を備えています。

質問: Enterprise A2019 と以前のバージョンの違いは何ですか?

Enterprise A2019 は、現在 2,000 社を超える世界最大規模の企業各社が運用する Enterprise 11 バージョンの強力な基盤の上に構築され、次のような数多くの機能強化が追加されています (大半が業界初)。

- Web ベースのユーザー インターフェース: Bot 作成時に、クライアントのダウンロード、インストール、メンテナンスをユーザー マシン側で必要としない、ゼロフットプリントの Bot 開発システムです。
- 業界初の真の RPA-as-a-Service プラットフォーム: 全社規模の導入、管理、拡張が非常に簡単です。新規導入から稼働開始までわずか数クリックで行えます。初めての Bot を 4 分以内に構築できます。常に最新状態が維持され、手作業によるアップグレードを必要としないプラットフォームです。
- 製品内トレーニング: ステップ バイ ステップのガイドを参考に、すばやく使いこなせるようになります。

よくある質問

- ユーザーの種類に応じたビュー: ビジネス ユーザー向けのフロー ビュー、開発者向けのリスト ビューに加え、コラボレーション用のデュアルビューが提供されるため、異なるユーザー間でのコラボレーションが容易になります。
- 新しい Universal Recorder: Citrix、Windows、Web、SAP などのプラットフォームで稼働する複数のレコーダーが集約され、キャプチャプロセスが簡単になりました。
- インライン スクリプティング: JavaScript、Python、VBScript などをサポートしています。プラグ可能なアーキテクチャにより、新しいコマンド パッケージを簡単に追加できます。
- 各種オペレーティング システムのサポート: Windows、Linux、MacOS に対応。
- Windows OS 上で管理者権限なしで利用可能な Attended Bot
- 高度な変数機能

質問: Enterprise A2019 はどのような形態で利用できますか?

Enterprise A2019 では、デジタルワークフォース プラットフォーム全体がオンプレミスとクラウドの両方で提供されます。企業は、次のいずれかのオプションを選択できます。

- Automation Anywhere Enterprise A2019: オンプレミス、パブリッククラウド、プライベート クラウド、ハイブリッド クラウドのオプションで提供されます。

よくある質問

- Automation Anywhere Enterprise Cloud Edition: Automation Anywhere ターンキー ソリューションとして提供される、クラウド ホスティングのみで利用できるバージョンです。
- Automation Anywhere Community Edition: オートメーション・エニウェアがクラウドでホスティングする、学生、開発者、スモール ビジネス向けの無料バージョンです。
- Automation Anywhere Free Trial: 30 日間の無料バージョンです。オートメーション・エニウェアによるクラウド ホスティングとオンプレミスのいずれかを、お客様が選択できます。

導入をご検討の方は、[オートメーション・エニウェアの Web サイト](#)で各種エディションを比較し、Enterprise A2019 で RPA の導入をすすめてください。

質問: Enterprise A2019 がサポートするオペレーティング システムは何ですか?

Enterprise 11 以降完全に Web ベースで提供されている Control Room は、Windows、Linux、MacOS に加え、モバイル デバイスからのアクセスをサポートしています。Enterprise A2019 は、このマルチ OS サポートを引き継ぐとともに、さらに強化されています。

Enterprise A2019 における最大の機能強化は、インストールを必要としない、完全 Web ベースのワークベンチです。この Bot 作成環境は、Windows、Linux、MacOS をサポートしています。

よくある質問

質問: Enterprise A2019 はどのような方法で導入できますか?

Enterprise A2019 はオンプレミスとクラウドに導入できます。

- Enterprise A2019 オンプレミス版の場合、インストール先はお客様のサーバーとなります。Web ベースという特性によりユーザー マシンへのインストールや導入は必要ないため、総所有コスト (TCO) を大幅に削減できます。
- Enterprise A2019 クラウド版は、真の Software-as-a-Service として提供されます。この SaaS 形式を、オートメーション・エニウェアはターンキー ソリューションとして提供しています。つまり、すべての処理をオートメーション・エニウェアが担うため、購入を検討する際にクラウド プロバイダーやその他のインフラストラクチャ要素の選択に悩む必要はありません。お客様に必要な操作は、サービスとして提供される Enterprise A2019 にサインアップするだけです。その後エンドユーザーは、各自のブラウザからプラットフォームにアクセスし、ログインして、Bot の作成を開始できます。管理者には、ユーザー管理、セキュリティ、ガバナンス、コントロールの包括的な機能が提供されます。これらの機能も Web ブラウザから利用可能です。

質問: Enterprise A2019 はどのような方法で更新されますか?

Enterprise A2019 Cloud Edition の場合、お客様は常に最新かつ最先端のバージョンを利用できます。更新ファイルはオートメーション・エニウェアが定期的に適用します。

よくある質問

オンプレミス版の場合、定期更新ファイルがカスタマー ポータルに公開され、管理者が全社規模で希望のバージョンを展開できます。

質問: A2019 は英語以外の言語でも利用できますか?

はい。A2019 は次の 10 言語に対応しています: 英語、日本語、韓国語、繁体字中国語、簡体字中国語、フランス語、ドイツ語、スペイン語、ポルトガル語、イタリア語。その他の言語への対応も順次進めていく予定です。

質問: A2019 のデータ プライバシーとセキュリティにはどのような特徴がありますか?

Enterprise A2019 では、オンプレミス版・クラウド版を問わず、エンタープライズ クラスのセキュリティとデータ プライバシーを面倒な設定なしで利用できます。

すべてのプロセスと PII データは、お客様のファイアウォール内のインフラストラクチャで、オンプレミスの Bot エージェントによって処理されます。これらのデータは、Bot に共有するよう特別に指示しない限り、クラウドとやり取りされることはありません。データ プライバシーについては、保存データには AES 256 ビット暗号化を適用し、ネットワーク/移動中データには TLS/1.2 を適用することで実現されます。さらに Kerberos ベースの Active Directory (AD) 認証が使用されています。また、このマイクロサービス アーキテクチャによって、最新の Web スケールのセキュリティ手法で Bot、データそしてユーザーの安全を守ります。指示がない限り個人データが環境外に移動することはなく、IT マネージャーの完全な管理下に置かれます。

よくある質問

Enterprise A2019 は、次のセキュリティ関連法規制に準拠しています: PCI、GLBA、GDPR、FISMA、OWASP、SOC2。さらに Enterprise Cloud Edition には、L7 ロード バランシング、Web アプリケーション ファイアウォール、プライベート ネットワークによるアクセス制御など、業界の各種セキュリティ ベスト プラクティスが採用されています。

質問: Enterprise A2019 がサポートするクラウドプラットフォームは何ですか?

Enterprise A2019 は、Amazon AWS、Microsoft Azure、Google Cloud Platform、IBM Cloud など、あらゆる主要クラウドプラットフォームをサポートしています。オートメーション・エニウェアによるクラウドベースの Software-as-a-Service モデルは、ターンキー ソリューションとして提供されます。そのため、すべての処理をオートメーション・エニウェアが担うため、購入を検討する際にクラウド プロバイダーやその他のインフラストラクチャ要素の選択に悩む必要はありません。

質問: サポートされているプログラミング/スクリプト言語は何ですか?

A2019 の Bot 開発用のインライン スクリプティング機能は、Python、JavaScript、VBScript をサポートしています。その他の対応言語も近日中に追加される予定です。インライン スクリプティングによって、オートメーション開発者は、得意のプログラミング言語で開発した独自のコードを直接 Bot に組み込めるようになります。また、AI と機械学習機能の統合も容易になります。

質問: Enterprise A2019 の製品ドキュメントはどこにありますか?

全製品に関するドキュメントは、すべて

<https://docs.automationanywhere.com/jp> で公開されています。

よくある質問

質問: A2019 には製品内のヘルプがありますか?

はい。A2019 では、初めて使用する新規ユーザーの方も、熟練の開発者の方も、幅広い内容をカバーしたステップ バイ ステップのヘルプをご利用いただけます。

オートメーション・エニウェアは、製品内トレーニングの品質向上に取り組み続けています。現時点では、RPA のベスト プラクティスは、ドキュメント サイトおよび Apeople コミュニティで公開しています。